

名古屋市立北高等学校 ～美術部～

北区では文字通り北高（きたこう）という愛称で親しまれる名古屋市立北高等学校。北高美術部では基礎力の向上と定着、表現方法の探求をしっかりと行い、油絵・切絵・版画・ポスターデザイン・立体造形などの作品で、愛知県下トップクラス・全国レベルの実力と実績を上げています。

また高校デザイン科やデザイン専門学校での指導経験もある顧問や外部講師、現役美大生（北高校OG）による専門的な指導、美術・デザイン系進学者に対応した実技試験指導、ポートフォリオやプレゼンテーション資料の準備など進学指導も充実しています。さらにキャリア教育のため北区役所や地域の大学、企業と連携した活動も行っていますので、在学中からアーティストやデザイナーとしての活動体験ができ、高校美術科やデザイン科と同等レベルのスキルを身に付けることができます。

新体制出発で描く

今年は1年生9人が入部しました。年度当初に右脳トレーニングで物の見方を理解し、名画の模写で油絵の描き方の技術を学びます。年間を通して5分間クロッキー・書道トレーニング・外周ランニングを行うことで作品制作に必要な基礎力及び体力の向上を図ります。その後、合宿での風景画制作、全国大会に向けての作品制作、ポスター制作をしていきます。



右脳トレーニング

年度当初の特別講座として、右脳トレーニング（ベティ・エドワーズ博士の脳の右側で描け）を行うことでデッサン感覚を身に付けます。



名画の模写

1年生は入部当初に名画の模写で油絵の描き方を学びながら、絵の具の違いによる特性や混色技術、道具の使い方などを理解していきます。



書道トレーニング

月1回、書道を行い、筆圧・筆速を意識して文字を書くことで、絵を描く上での筆さばきの技術を向上させます。



外周ランニング

週1回、学校の外周をランニングして基礎体力づくりをしています。皆でペースと掛け声を合わせて走ることで連帯感も生まれます。



今年度の予定

- 『クロッキー会』（東山動植物園）
- 『合宿』（絵描きの町：三重県志摩市大王町波切）
- 『全国高等学校総合文化祭』（高松市美術館：7月26～30日）
- 『古川美術館Fアワード次世代につなぐ』（古川美術館：8月2～10日）
- 『愛知県高等学校総合文化祭・アートフェスタ』（愛知県芸術文化センター：8月19～24日）
- 『文化祭』（本校美術室：9月12～13日）
- 『教育文化祭』（市民ギャラリー栄：9月16～21日）
- 『北区美術展』（北区役所講堂：10月3～5日）
- 『みんなの南吉展』（半田赤レンガ建物：9月23～10月13日）
- 『高文連名古屋支部展』（名古屋造形大学ギャラリー：11月2～9日）
- 『サステナまち計画』（柳原通商店街：12月7日）
- 『ミニ北美展』（北図書館：2月）